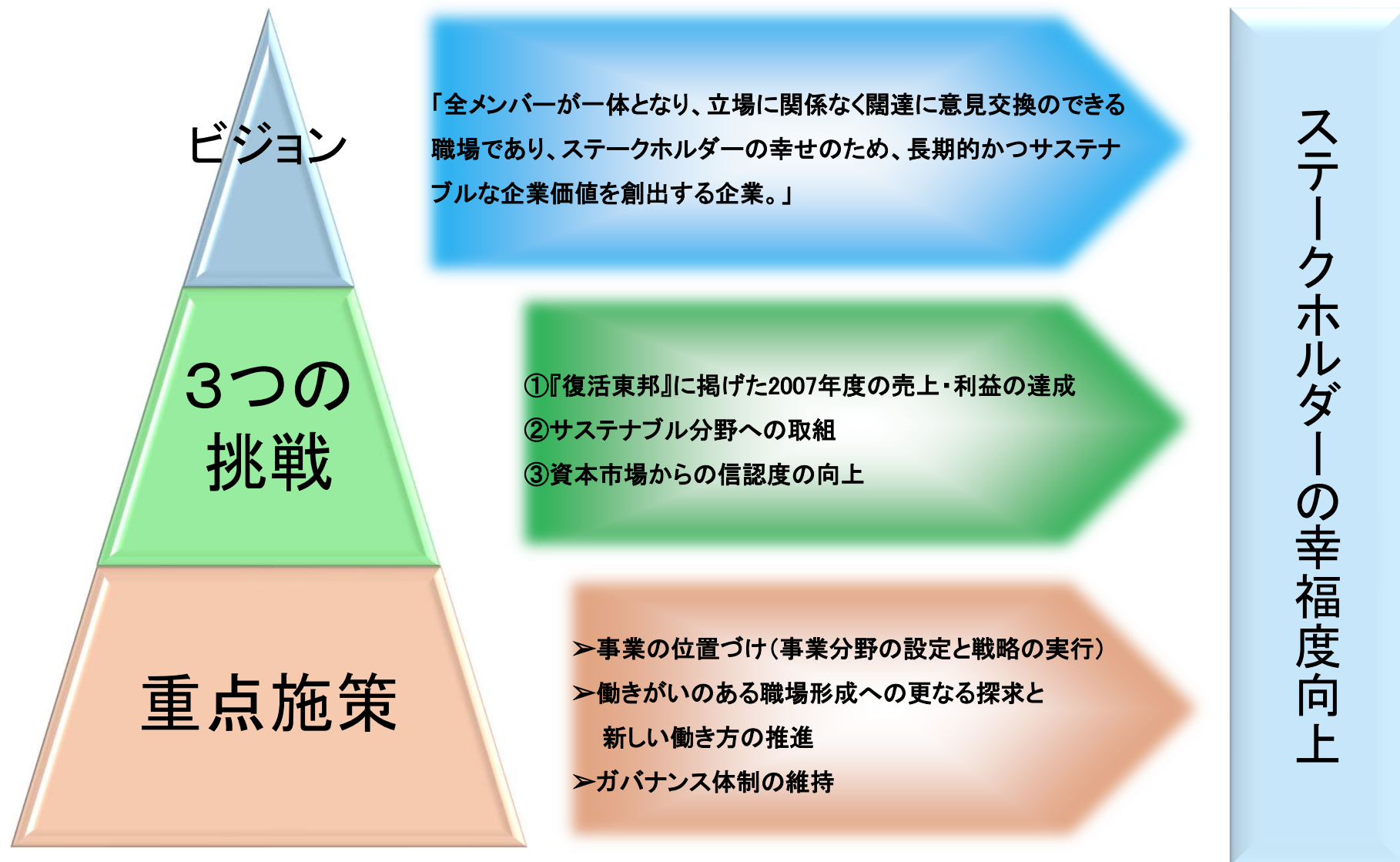


中期経営計画進捗報告(2024年度実績)
(2024年度～2026年度)

《*REVIVE2026*》～復活東邦に向けて～

2025年9月1日



中長期的な企業ビジョン 3つの挑戦

第三期中期経営計画概要

中長期的な企業ビジョンを達成するため、3つの挑戦を進める

①「復活東邦」に掲げた2007年度以上の売上高・利益の達成

②サステナブル分野への取り組み

③資本市場からの信認度の向上

企業ビジョンを達成するために…

中期経営計画9ヵ年(2017～2026年度)では過去最高水準の営業利益314百万円以上を達成し、「復活東邦」を成し遂げる。

第1期
(2017-2019)

既存事業の強化
新たな分野への種を蒔く

第2期
(2021-2023)

既存事業の選択と集中
苗を育てる

第3期
(2024-2026)
稲穂を刈り取る

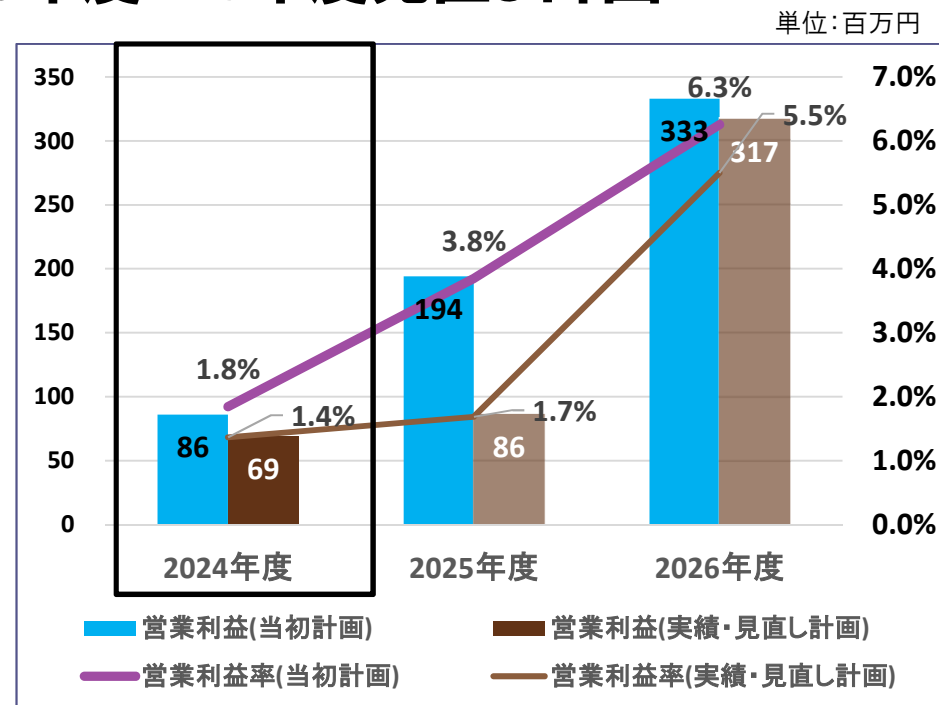
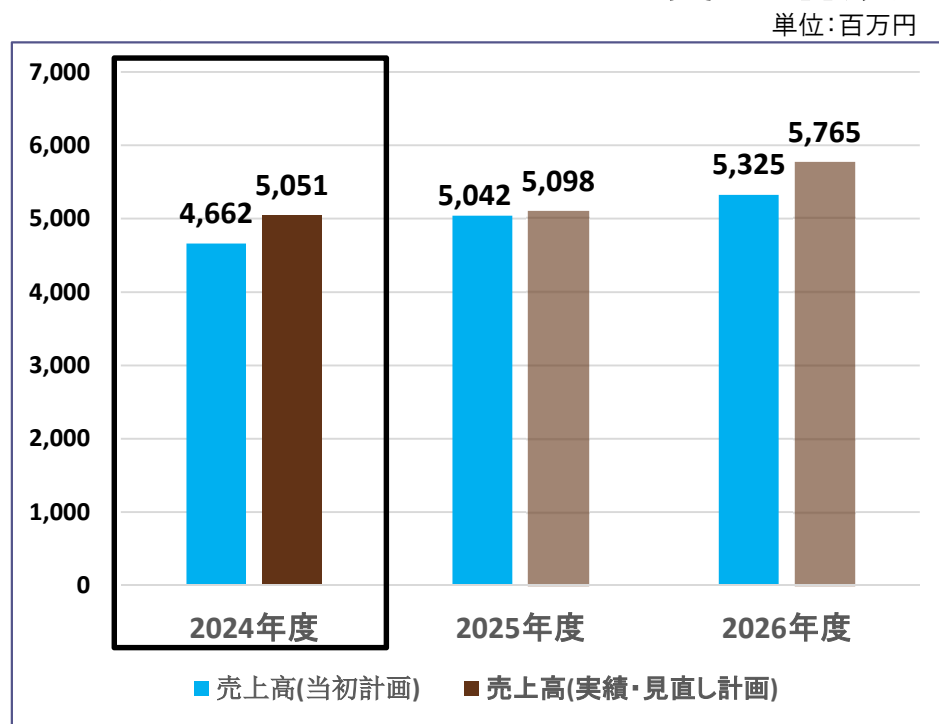
(2027～)
更なる飛躍へ

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、先行き不透明となり、2020年度の計画は見送られた。

①「復活東邦」に掲げた2007年度の利益の達成(24年度実績)

- 次期中期経営計画に繋がるよう、開発案件、予算外アイテムの種は蒔き続けるとともに、今後の「多角化」(ポートフォリオ)の検討も行う。
- 第三期年度毎の目標値が達成できるようにバックキャスト思考で検討する。

第三期中期経営計画の24年度総括及び25年度・26年度見直し計画



- ・売上50億5,110万円(108.3%)、売上総利益6億1,980万円(98.6%)、営業利益6,860万円(80.2%)の実績となった。
- ・売上、利益では仕入販売品が好調であったが、タングステン・モリブデン市況が芳しくなく、貴金属電極に頼る1年となった。
- ・25年度は24年度実績ベース、26年度は品種構成(タンモリが伸び、貴金属減少)により当初計画比で売上高108% 営業利益95%の計画とした。※26年度営業利益は、9ヶ年計画最終目標営業利益額(314百万円以上)に拘った。

②サステナブル分野への取り組み(24年度実績)

当社は、サステナビリティに関する基本方針を掲げ、事業活動を通じて社会に貢献していくことを目指す。
中期経営計画(24年度～26年度)では、持続可能な開発目標「SDGs」17の目標と事業活動から、特に関連性の高い13の目標(活動15)を選定し取り組んだ。

当社活動	指標	24年度	
		目標	達成度
核融合炉用高熱負荷受熱機器開発	計画	—	△
自動車電極用合金チップの開発	販売数量	—	×
マグネシウム合金製フローダイバーター向けワイヤの開発	計画	—	△
金属AMに最適な新規合金ワイヤの開発	計画	—	○



再生可能エネルギーの使用・省エネ



当社活動	指標	24年度	
		目標	実績
温室効果ガスのCO2排出把握と削減	CO2排出量(削減率)	18%	67.3%

新規事業
(技術開発)

省力化
省人化



当社活動	指標	24年度	
		目標	実績
自動化・ロボット化推進	導入件数	1件以上	1件



基幹事業(土木用部材)
事業リスク

働き方改革
人材創出



当社活動	指標	24年度	
		目標	実績
超硬合金を活用した地雷除去装置の開発	販売金額	40.3%	100%
事業継続リスクの強化	取引先開拓	1件	0件
材料(紛争鉱物)のリスク評価実施と強化	顧客満足	100%	100%

当社活動	指標	24年度	
		目標	実績
正社員に占める女性割合	女性比率	13.0%	13.5%
女性係長以上増員	増員数	1名	3名
有給休暇取得促進	最低日数	7日以上	94.1%
フレックスタイム活用促進	実績	—	3名
職場困りごと検討	実績	—	○

③資本市場からの信認度の向上(24年度実績)

➤ステークホルダーに対して情報開示、開発製品等のプレスリリース等を積極的、継続的に行う。

日時	開示情報、プレスリリース	URL
25.5.31	SBT(Science Based Targets)実績報告	<5342548EC090D195F18D902832303234944E9378292E786C7378>
25.4.23	5/14～16 高機能素材Week大阪に出展します	5/14～16 高機能素材Week大阪に出展します タングステン モリブデン 銅タン 超硬加工の 東邦金属株式会社
25.4.23	4/24～25 機能性繊維フェア2025に出展します	4/24～25 機能性繊維フェア2025に出展します タングステン モリブデン 銅タン 超硬加工の 東邦金属株式会社
24.11.27	25年3月期 中間決算報告	0d55850920087833488b93af7411f6b6.pdf
24.9.05	中期経営計画を更新しました	中期経営計画を更新しました タングステン モリブデン 銅タン 超硬加工の 東邦金属株式会社
24.6.26	24年3月期 決算報告	a12e5f8792a893a50569d89757effd3f.pdf
24.6.13	業界初、産学官連携でワイヤー・レーザー金属3Dプリンターによるマグネシウム合金の高精度な積層造形技術を確立	業界初、産学官連携でワイヤー・レーザー金属3Dプリンターによるマグネシウム合金の高精度な積層造形技術を確立 タングステン モリブデン 銅タン 超硬加工の 東邦金属株式会社
24.5.31	SBT(Science Based Targets)実績報告	SBTjisseki2023.pdf
24.5.10	取締役の異動に関するお知らせ	yakuinidou20240510
24.4.16	当社株式の上場廃止に関するお知らせ	tohoIR20240416.pdf

第三期中期経営計画概要

中長期的な企業ビジョンを達成するため、重点施策を進める

①事業の位置づけ(事業分野の設定と戦略の実行)

②働きがいのある職場形成への更なる探求と新しい働き方の推進

③ガバナンス体制の維持

企業ビジョンを達成するために…

中期経営計画9ヵ年(2017～2026年度)では過去最高水準の営業利益314百万円以上を達成し、「復活東邦」を成し遂げる。

第1期
(2017-2019)

既存事業の強化
新たな分野への種を蒔く

第2期
(2021-2023)

既存事業の選択と集中
苗を育てる

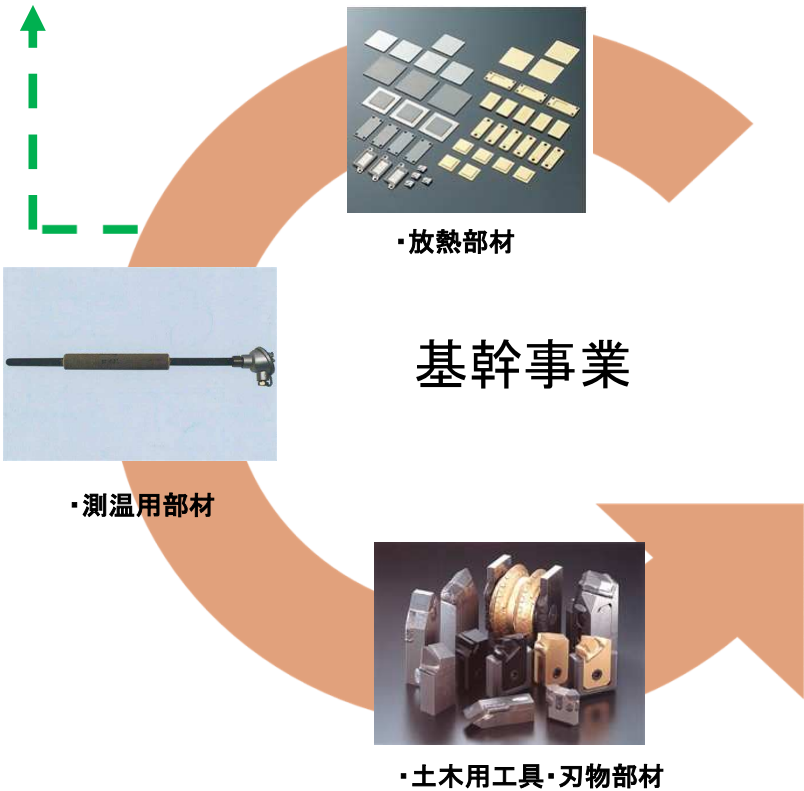
第3期
(2024-2026)
稲穂を刈り取る

(2027～)
更なる飛躍へ

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、先行き不透明となり、2020年度の計画は見送られた。

基幹事業

下記の製品群は、当社コア事業の中で、市場占有率は高く、今後も成長が見込まれており、収益の向上により経営資源の最適配分を図る。

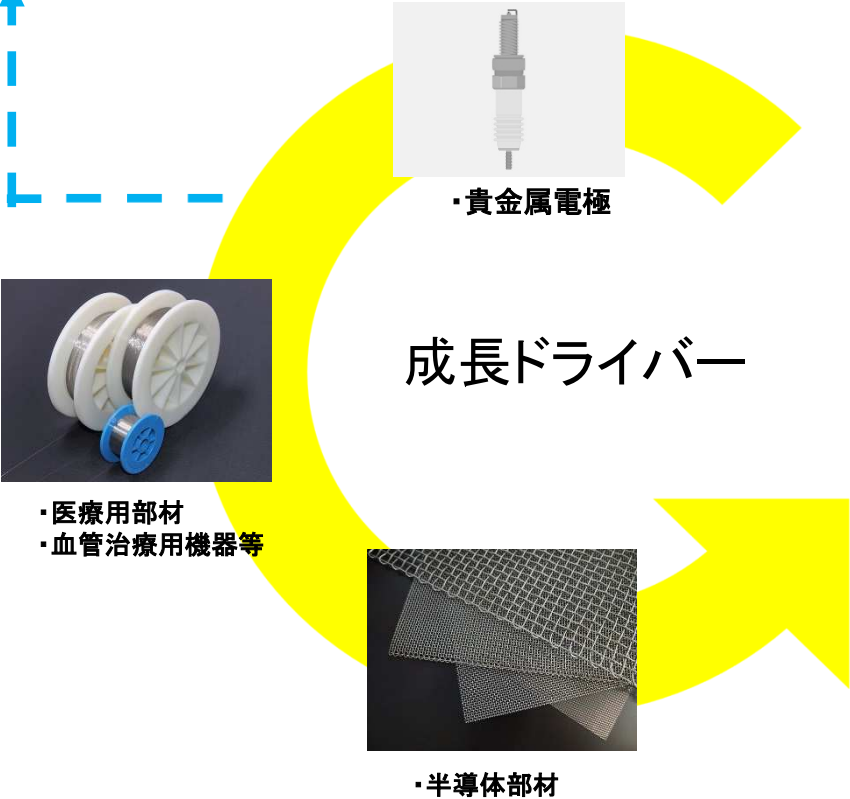


事業	達成度	内容
放熱部材	86.3%	光通信用は回復傾向も、パワーデバイス関係等の需要落ち込みの影響があった。
測温用部材	97.2%	ほぼ計画通りの需要となった。
土木用工具 刃物部材	98.7%	地雷除去部材、基礎工事用大型需要が旺盛で、鉱山土木、刃物部材落ち込みをカバーした。

規模拡大できず、収益を他事業へ経営資源として配分する余裕は出来なかった。

成長ドライバー

下記の製品群は、市場占有率及び成長率が高く、経営資源を展開し、規模の拡大を目指す。



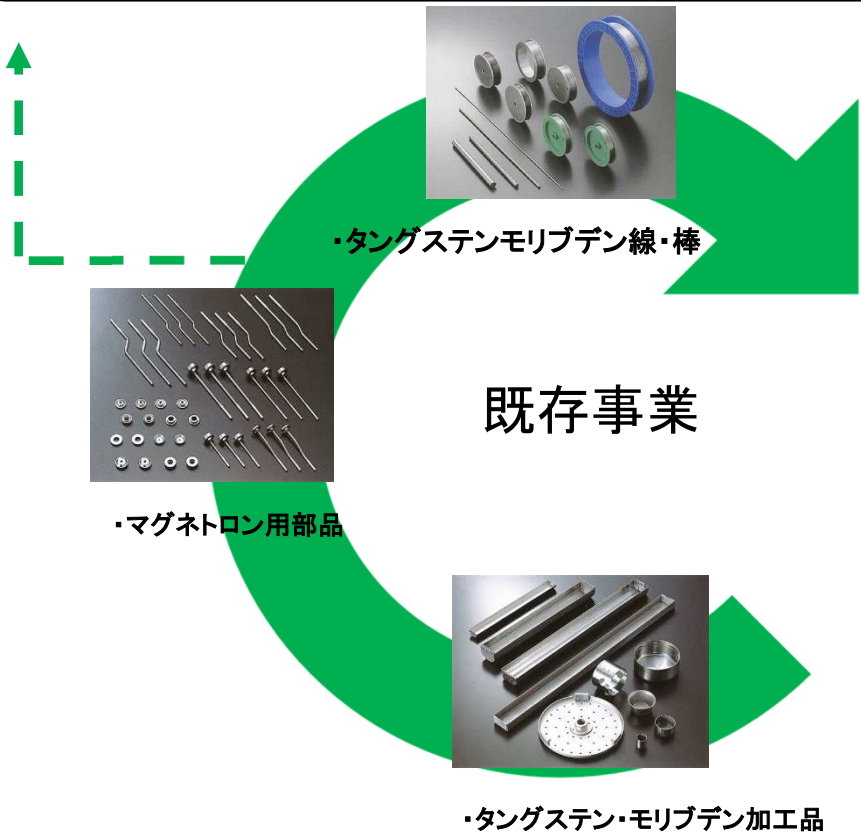
規模の拡大

事業	達成度	内容
貴金属電極	116.4%	EV化の鈍化で、内燃機関用貴金属電極は需要が旺盛であった。
医療用部材	66.0%	顧客在庫調整で需要が低調であった。
半導体部材	101.4%	需要の波はあったものの、年間では、ほぼ計画通りの需要となった。

貴金属電極、半導体部材は医療用部材の落ち込みをカバーし、更に規模の拡大に大きく寄与した。

既存事業

上記の製品群は、あらゆる分野で使用されており、収益の維持を探究する。但し、将来性が見込まれないと判断した製品は、経営資源を新規事業へ最適配分する。



収益性の向上

事業	達成度	内容
タングステン モリブデン 線・棒	99.9%	ハロゲン用タングステン線がモリブデン線の落ち込みをカバーした。
マグネトロン用 部材	88.3%	工業用マグネトロンは人工・合成ダイヤモンド市場減退で需要減。民生用は顧客在庫調整の影響を受けた。
タングステン モリブデン 加工品	118.8%	除電用素材の需要が好調であった。下期に焼成用ボート等の受注があった。

マグネトロン用部材を除き収益維持に寄与できた。

新規事業

上記4項目は基礎的な特許取得済み。産学官連携し研究を継続、上市に向けて追求する。

収益性の向上

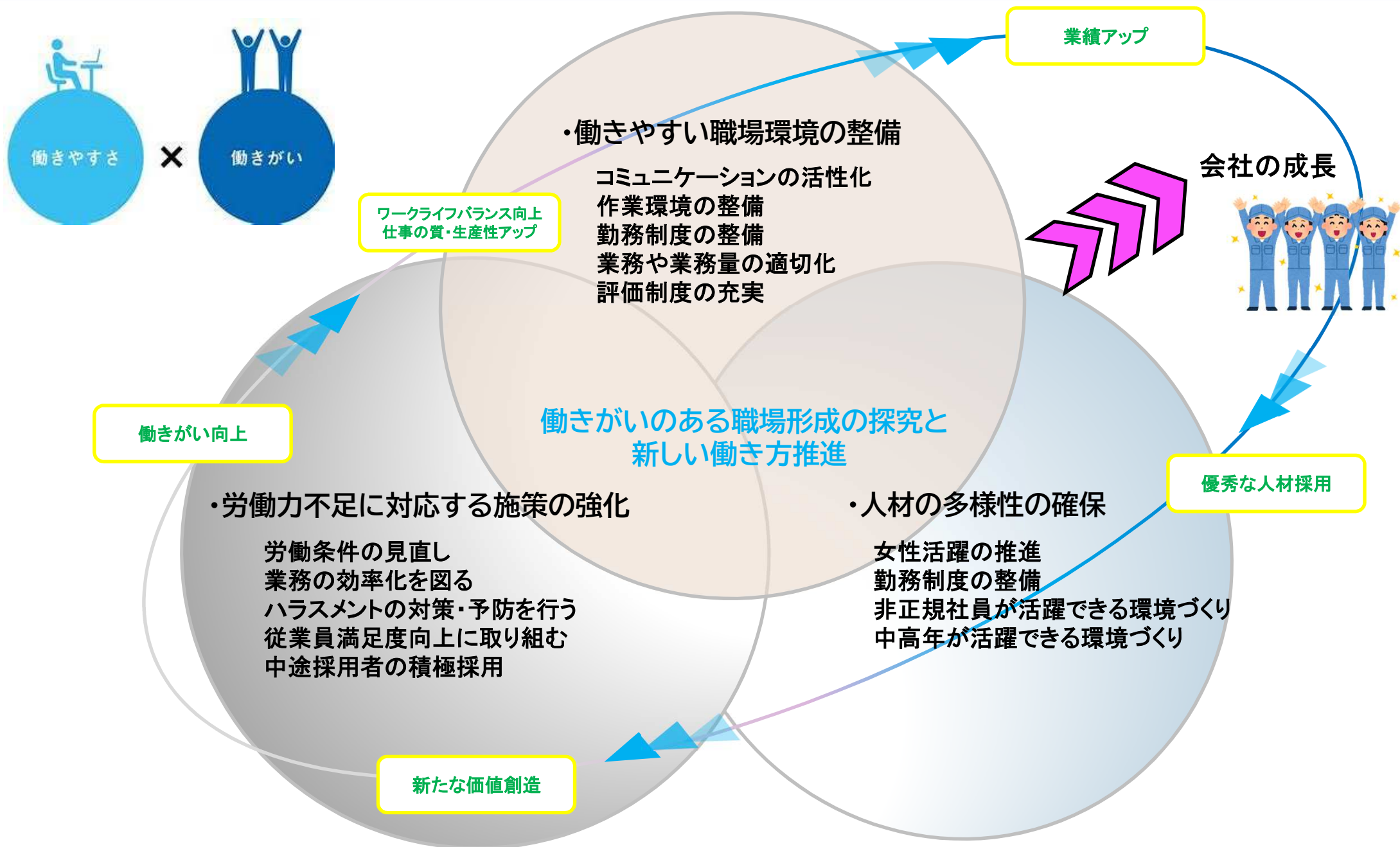
事業	達成度	内容
マグネシウム合金部材	30.0%	要求された技術は満足するものを提供しているが実験レベルで上市までには至らなかった。
核融合部材	43.0%	効率向上に向けて基礎技術確認用のサンプルを提供している。
放射線遮蔽用部材	53.0%	機能性繊維フェア2025に出展し、新規顧客数社と検討を行った。
産業用電極部材	113.8%	上市后順調に販売推移している。



多角化を見据えた、新規事業の創出では、産業用電極部材が上市されて順調に推移している。

重点施策②

働きがいのある職場形成への更なる探求と新しい働き方の推進



ガバナンス＝監視・統制する仕組み

コンプライアンス

＝法令順守・社会規範
社内規則・CSR

- ハラスメント対策
- 適切な労務管理
- 情報漏えい
- 粉飾決算
- 安全と品質・環境保全
等々

リスクマネジメント

＝リスクを把握・予防する
プロセス

- 労務管理
- BCP
- 与信管理・在庫管理
- 品質・環境管理
- 内部統制
等々

これらを客観的に調査し、
評価・助言を行う

内部監査部門

コンプライアンス、リスクマネジメントにおいて当社内部監査室、ISO管理室による
サンプリング調査実施の結果、適切に運営されていることを表明します。

本資料の取り扱いについて

本資料に記載されている数値目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。